

	イラスト	タイトル	解説・ヒント
1		昔の消火器？	古い町並みを守るためには、火災予防が大切！浜崎地区内では、消火器を町並みになじむように木の小屋で隠しているよ。地区内に何か所かあるから、気をつけて見つけてね。
2		頭の長〜い神様	頭の長いのは福祿寿（ふくろくじゅ）という七福神のうちの1人の神様。昔のお祭りでは、七福神などの神様を台に載せた「聖（ひじり）」と呼ばれる山車（だし）を担いで、奉納行列をしていたよ。
3		浜崎の景色	古い建物が続く町並みの遠くには、漁船が並ぶ河口の港や、川の向こうにある鶴江（つるえ）の町並み、萩の市街地を囲む山の姿が見えて、港と共に栄えた浜崎らしい景色を楽しむことができるよ。
4		真っ赤な天狗様	大きくて真っ赤な顔が特徴の天狗の山車。猿田彦面山車（さるたひこめんだし）と呼ばれているよ。夏祭りの時には、住吉神社の鳥居の横に飾られて、祭りを彩っているよ。
5		昔のカーブミラー？	昔ではなく現代のカーブミラーだけど、交通安全に欠かせない道路のカーブミラーにも木製の屋根をつけることで、町並みになじむように工夫されているよ。
6		赤丸ポスト	現役のポストとして活躍している昭和レトロな赤い丸型のポスト。細い格子が特徴的な町家・斉藤家の近くにあるよ。浜崎の郵便局で風景印を押してもらって、手紙を出そう！
7		かべ！	白い漆喰（しっくい）と黒い瓦でつくられた壁。「なまこ壁」と呼ばれているよ。燃えにくい素材で火災から家や蔵を守っていたよ。
8		昔の楽器？	霧笛（むてき）と呼ばれる船の道具。霧（きり）が濃い時に、音で船の存在を知らせたよ。どんな音がするのかな？
9		〇〇〇の町印の提灯	江戸時代、萩の城下町はいくつもの小さな町に分かれていて「町印（まちじるし）」という町ごとの印があったよ。提灯（ちょうちん）やのぼり、はっぴに使われて、町人たちの気持ちをまとめたよ。
10		なんの跡？	大きな石を割って、切り出そうとしたときの楔（くさび）の跡が残っている。昔は、石をひとつひとつ手作業で切り出していたよ。これは途中であきらめて、他のところから割ったから、切り取り線みたいに跡が残ったのかな？
11		蔵の窓	蔵には大切なものをしまっていたから、窓にも鉄の格子をつけて厳重にしていたのかな？
12		昔のトイレマーク？	御船倉（おふなぐら）のそばにある公衆トイレのマーク。昔風の男性と女性を表すために、浮世絵に出てきそうな人の絵になっているのかな？古い町並みの雰囲気を守りながら、人々が訪れやすくするために、小さなマークのデザインにも工夫がされているよ。
13		きゅうはぎはんおふなぐら 旧萩藩御船倉	藩主が乗る船が格納されていた倉。江戸時代には、同じような御船倉が3～4棟並んでいて、川から建物の中まで水があって、船はここから出発していたよ。 ※旧山村家住宅のガイドにお願いすると内部を見学できるよ（水曜日は内部の見学不可）。
14		浜崎のねこ	猫がまちのいたるところにいるよ。港が近いからかな？
15		浜崎印のはっぴ	浜崎の町印は、船を固定するための碇（いかり）や船をこぐための櫂（かい）がモチーフになっているよ。

	イラスト	タイトル	解説・ヒント
16		お菓子処の看板	懐かしいお菓子を手作りして売っているお菓子屋さんの看板。蔵の建物のような形をしていて、浜崎らしさがあるよ。
17		だれか... (コアラ)	住吉神社の境内にある、住吉保育園の子どものための時計についた動物のキャラクターたち。このコアラはちょっとおもしろい表情をしているね。神社は昔から子どもたちや浜崎のまちの人が集まるにぎやかな場所だったよ。
18		右から読む昔の看板	中村船具店の昔ながらの看板。古い建物によく似合う、レトロでかっこいい看板だね。昔（明治時代～昭和初期）は横並びの言葉は、右から左に読ませる形が普通だったよ。声に出して読んでみよう。
19		椿のブロック塀？	よくある雲形が空いたブロック塀だけど、その真ん中に四角いブロックを置いたので、椿の花のような形に見えるよ。
20		つるえ わた 鶴江の渡し	浜崎は川の河口を利用した港になっていて、漁船がたくさん並んでいる。昔ながらの木造の渡し舟も残っていて、向こう岸の鶴江と行き来ができるよ。船の道だけど市道の扱いだから誰でも無料で乗れる。乗りたいときは「鶴江の渡し」と書かれた看板のある小屋から、手を振って向こう岸の船頭さんと呼ぼう。赤い旗が立っているときはお休みだよ。
21		きくがはま 菊ヶ浜	浜崎は日本海に面していて、菊ヶ浜（きくがはま）という、美しい砂浜があるよ。この砂浜は住吉神社からもつながっていたから、海側にも鳥居がある。浜崎の人たちを中心とした「菊ヶ浜を日本一美しくする会」による清掃活動が行われているよ。萩の三角州の端にあるお椀を逆さにしたようなこんもりした形の指月山（しづきやま）が目印。
22		すみよしじんじゃ とりい 住吉神社の鳥居	地元の人から大事にされている住吉神社の正面を守る、石造りの立派な鳥居。浜崎を訪れたらお参りして、あいさつをしよう。
23		旧山中家住宅	浜崎の町並み交流館。普段から浜崎しっちゃん会の人々が常駐して、まち案内をしてくれる。浜崎らしい町家の造りを見学できるよ（無料・水曜日休館）。
24		旧山村家住宅	浜崎の町並み交流館。普段から浜崎しっちゃん会の人々が常駐して、建物見学の案内やまちの案内をしてくれる。奥にある蔵は「浜崎博物館」になっていて、家々に伝わった宝物が展示されているよ（無料・水曜日休館）。
25		旧小池家土蔵	浜崎を往来する物資を保管するために使われていた大きな蔵。現在は、浜崎のお祭りに関わるものを展示する公開施設になっている。※旧山村家住宅のガイドにお願いすると内部を見学できるよ（水曜日は内部の見学不可）。
26		三角のでっぱり壁	道路の形が曲がっていくのに合わせて、家の形を工夫して建てているよ。浜崎の人々が、限られた土地で工夫を重ねて暮らしてきたことがわかるね。
27		石垣の中に 小さなハートが！？	御船倉の石垣の中にある小さなハート型の石。たくさんの石の中から見つけられるかな？ 入口付近の上の方をよくみてみてね。
28		たたいて 時を知らせるもの	お寺や神社などで、音を鳴らすための道具で「鰐口（わにぐち）」というよ。旧山中家に伝わったものが、階段のそばにかけられている。どんな音がするか鳴らしてみよう。
29		いちにみつぼし 一に三ツ星マーク	萩の藩主である毛利家に大切にされた住吉神社や、藩の持ち物だった御船倉にはそれを表す毛利家の家紋「一に三ツ星」がいろんなところについている。探してみよう。